

事業所名

ゆにこーんハート(放課後等ディサービス)

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

13日

法人（事業所）理念		ゆにこーんグループでは「輝け未来へ 子どもたち」をスローガンに、子どもたちの未来に生き抜く力を育んでいきます。									
支援方針		アセスメントを定期的の実施し、根拠のある支援を実施する。 また、一人ひとりの個性に合わせた支援の提供を通じて、子どもたちが成長できるように、ともに歩んで行きます。									
営業時間			9 時	15 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	日々の児童の様子の観察、体調管理をこまめに行っている。また、担任・学校関係者と情報共有を行いながら、利用児童が元気に活動ができるようサポートする。 お休みをした日の療育は可能な限り、振替を実施し、療育機会の保証を行っている。									
	運動・感覚	音楽療育を用いて、利用児童一人ひとりのアセスメントを実施している。 リトミックや体操、リズム遊びを、こども一人ひとりの発達や興味・課題に合わせて取り入れている。 音楽リズムに合わせて体を動かすことで情緒の安定や思考力、表現力の向上を支援している。									
	認知・行動	利用児童一人ひとりのアセスメントを実施している。 児童一人ひとりの興味や関心、そして現在の力を分析し、少し努力すれば達成できる目標を設定することで、確実な成功体験を積み重ね、自信へと繋げていく。									
	言語 コミュニケーション	ことば音楽療法(個別支援)を用いて、利用児童一人ひとりに合わせた療育を実施している。 言葉だけでなく、姿勢・ジェスチャーなどを用いることで、児童が自分の思いを言語化・体現化し、コミュニケーションの力を向上させることができるように支援していく。									
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルトレーニングを行い、児童一人ひとりのアセスメントを実施している。 指導に当たる職員と関係性を築けるよう、アットホームな環境を提供している。個別療育から小集団療育によって、児童がのびのびと自己表現できる場を提供している。また、活動を通して、ルールやマナーなどそれぞれの課題によって指導している。									
家族支援		希望に応じ見学会を実施。保育者が療育の様子を観察し、日々の成長の様子を児童発達支援管理責任者から報告する。また、日々の指導記録を文書で保護者に報告している。必要に応じて、きょうだい児についての相談にも応じる。					移行支援		小学校や支援学校をはじめ、各関係機関との連携と情報共有を密にし、こども達が地域の中で安心して生活できるよう必要な支援をします。		
地域支援・地域連携		担任等学校関係者との情報共有を定期的に行い、ゆにこーんハートで身に着けた力を在籍級で発揮できるよう、連携を大切にしている。					職員の質の向上		定期的に教育・障害・衛生など、職員の質の向上のための研修を実施している。		
主な行事等		活動の中で、季節にちなんだ遊び（こどもの日や七夕、クリスマスなど）を活動や制作活動に取り入れている。 また、毎月避難・防災訓練を実施し、職員・児童ともに有事の際に速やかに安全を確保できるよう努めている。									